



1. 水と森と空気から考える、みらい
2. エネルギーから考える、みらい
3. ごみと資源から考える、みらい
4. いのちから考える、みらい

発表日 2022年4月20日

## 在日米国大使館 経済・科学担当公使が札幌市長を訪問します

この度、在日米国大使館 スティーブ・ラング経済・科学担当公使が北海道や札幌市の気候変動対策の動向把握のために札幌を訪れることとなり、ご挨拶のために札幌市長を訪問します。

取材をご希望の方は下記お問い合わせ先までご連絡をお願いします。

### 訪問内容

#### 1. 訪問日程

2022年4月21日（木）14:00～14:30

#### 2. 訪問者（略歴別紙）

在日米国大使館 スティーブ・ラング経済・科学担当公使  
在札幌米国総領事館 アンドリュー・リー総領事  
在札幌米国総領事館 ジェイコブ・ロッカ領事  
在札幌米国総領事館 島坂 泰寛経済補佐官

#### 3. 応接者

札幌市長 秋元 克広  
環境局長 米田 智広  
環境都市推進部長 菅原 祐雄

#### 4. 訪問場所

札幌市役所 10階 市長応接室（札幌市中央区北1条西2丁目）

※取材をご希望の方は開始3分前までに直接市長応接室までお越しください。

※取材・写真撮影は冒頭のみとなります。

#### 5. 在札幌米国総領事館の気候変動対策に向けた取組

在札幌米国総領事館では、地球環境について考える日として提案された記念日である4月22日のアースデイに合わせて、同館で使用している電力を再生可能エネルギーに切り替えます。

なお、札幌市においても、10月から札幌市役所本庁舎と地下歩行空間の電力を再生可能エネルギーに切り替える予定です。

### お問い合わせ

本件に関するお問い合わせは、下記担当までお願いいたします。

札幌市環境局環境都市推進部環境政策課 佐竹  
〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目札幌市役所 12階南  
TEL：011-211-2877、FAX：011-218-5108  
Mail：kan.suishin@city.sapporo.jp



## **PRESS RELEASE**

*Consulate General of the United States of America in Sapporo*

在札幌米国総領事館広報文化交流部

〒064-0821 札幌市中央区北1条西28丁目

TEL: 011-641-1115 (音声案内に従って「0」を選択) / FAX: 011-641-2416

FOR IMMEDIATE RELEASE

### **U.S. CONSULATE GENERAL SAPPORO SWITCHES TO ZERO EMISSIONS, CARBON-FREE ELECTRICITY**

**Action Demonstrates U.S. Government’s Commitment to Fighting Climate Crisis, Supports Sapporo and Hokkaido Decarbonization Efforts**

*SAPPORO, Japan (April 22, 2022)* – Coinciding with Earth Day, the U.S. Consulate General in Sapporo is switching its electricity supply to effectively 100% emissions-free renewable energy. This action aligns with President Biden’s commitment to lead by example in tackling the climate crisis, decreasing reliance on fossil fuels and reducing emissions.

“This is the decade to act to limit global warming to 1.5°C,” said U.S. Ambassador to Japan Rahm Emanuel. “What we do between now and 2030 will be pivotal.”

The decision to switch to clean electricity came after thorough research into various options. Ultimately, the decision was made to source our electricity from a local power company’s 100% carbon-free plan, one of several available to both organizations and individual consumers.

This action will save an estimated 141,000kg of CO<sub>2</sub> emissions per year – roughly equivalent to taking 1,500 flights between Sapporo and Tokyo.

“We are very proud to take this step,” said U.S. Consul General to Sapporo Andrew Lee. “Each of us has to do what we can to reduce our carbon footprint. This is our way of showing that we stand with the people of Sapporo and Hokkaido, who are also making great strides toward dramatically reducing dependence on carbon-based fuels.”

The Consulate General last year created an action plan to both reduce the carbon footprint of its facility in Sapporo, as well as support the U.S. and Japanese governments’ ambitious commitments to combat the climate crisis.

“We welcome the U.S. Consulate General’s bold action to reduce its carbon footprint as part of our common fight against the climate crisis,” noted Sapporo City Mayor Katsuhiko Akimoto.

*For media inquiries, please call the U.S. Consulate General Sapporo Public Affairs Section at 011-641-1843 or contact Ms. Maki Tagaya ([tagayamx@state.gov](mailto:tagayamx@state.gov)).*

2022年4月22日

## 在札幌米国総領事館内の電力をCO2排出量実質ゼロへ切り換え

気候危機と闘う米国政府のコミットメント、  
及び札幌市・北海道の脱炭素への取り組み支援を体現

札幌（2022年4月22日）－アースデイに合わせて、在札幌米国総領事館は館内の電力供給を実質的にCO2排出量ゼロの再生可能エネルギーへ切り換える。これは気候危機への取り組みの例として、化石燃料への依存を少なくし二酸化炭素排出量を減らすというバイデン大統領のコミットメントに沿ったものである。

「この10年で地球温暖化による世界の平均気温の上昇を1.5℃に抑えなければならぬ」とラーム・エマニュエル駐日米国大使はコメントした。「これから2030年までの間にとる私たちの行動が重要になる。」

再生可能エネルギーへの変換という決断は、さまざまな選択肢に関する調査の結果から生まれた。最終的に、館内の電力を、団体・個人の消費者に利用可能なくつつかの地元の電力会社の中から選び、100%カーボンフリープランとすることにした。

これは、札幌-東京間のフライトを1,500回利用した場合とほぼ同じで、年間約141,000kgの二酸化炭素排出量を削減できると試算している。

「我々はこの一歩をととても誇りに思います」と、アンドリュー・リー駐札幌米国総領事は話す。「各自が炭素排出量を減らすためにできることをしなくてはなりません。我々は、炭素系燃料への依存を劇的に減らすために大きく前進されている札幌市や北海道と共に歩みます。」

総領事館は昨年、施設の炭素負荷と排出を減らし、気候危機に対する日米両国政府の大きな目標を掲げた取り組みを支援するための活動計画を作成した。総領事館では、今回の取り組みが、最初の第一歩となり、総領事館だけではなく多くの方々々が地球環境を守るための第一歩を踏み出す励みとなることを望んでいる。

秋元克広札幌市長は「気候変動への共通の取り組みの一環として、脱炭素に向けた在札幌米国総領事館の力強い行動を歓迎します」とのコメントを寄せた。

邦訳：（英文が正規の表現です。）

お問合せ：在札幌米国総領事館 広報・文化交流部 電話 011-641-1843  
多賀谷真貴([tagayamx@state.gov](mailto:tagayamx@state.gov))